

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 5年 7月 4日 更新

事務事業名		結核・精神病類抽出事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2	福祉の健康			所属部	健康福祉部	課長名	緒方 寿雄
	施策	5	健康づくりの推進			所属課	保険年金課	担当者名	菊永 堯子
	施策の柱	22	保険医療制度の健全な運営			所属班	保険年金班	(内線)	1175
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	根拠法令	国民健康保険法		
	国保	6	1	1	10384				
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・疾病を分類(国保連合会委託)し市民の疾病傾向を把握し、長期的な医療費削減対策や補助金申請に使用する。</li> <li>・昭和33年に調整交付金制度が発足し国民健康保険法に設けられた制度。</li> <li>・平成20年度より後期高齢者医療制度が発足したため、75歳以上が対象から外れた。</li> </ul>
【業務の流れ】	①診療月ごとの疾病分類、②結核・精神の病類を抽出し診療月ごとのリストを作成、③リスト1件ごとに対象レセプトを確認、④対象となるものだけを特別調整交付金として申請
【主な予算費目】	08保健事業費 01保健衛生普及費 13業務委託
【意見や要望】	結果として交付金として市に国、県から交付があるので当然これからも必要である。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO)	国保連合会に対象疾病データ作成を委託した。	5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 前年度と同じ
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 枚	予算の主な増減の理由
ア 診療報酬明細書数	→	診療報酬明細件数の減による共同電算委託料の減。
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	国民健康保険特別会計	②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 千円
		ア 疾病分類業務等委託料
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	特別調整交付金の額を適正に算定する。	③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) 千円
		ア 結核・精神病にかかる特別調整交付金の金額
*③成果指標設定の理由と5年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ~ 年度
国の特別調整交付金の額が成果となるため。		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	2年度実績(決算)	3年度実績(決算)	4年度目標(当初予算)	4年度実績(決算)	5年度目標(当初予算)	6年度予定	7年度見込	8年度見込
①活動指標	ア 枚		196,484	205,538	213,000	135,510	213,000	213,000	213,000	213,000
②対象指標	ア 千円		2,143	1,357	2,400	1,342	2,400	2,400	2,400	2,400
③成果指標	ア 千円		80,207	79,909	70,000	73,295	70,000	70,000	70,000	70,000
投資	財源内訳	千円								
	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	繰入金	千円	2,143	2,237	2,400	2,214	2,400			
入費	(A)事業費計	千円	2,143	2,237	2,400	2,214	2,400	0	0	0
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特別	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件費	千円	1,261	1,251	796	1,179	796	0	0	0
量	正規職員従事人数	人	3	3	2	2	2	0	0	0
	延べ業務時間	時間	320	320	200	310	200	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)	千円	3,404	3,488	3,196	3,393	3,196	0	0	0	

事務事業名	結核・精神病類抽出事業	所属部	健康福祉部	所属課	保険年金課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	② 5年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 前年度並みのため。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 現状維持が大事。	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限の事業費のため削減の余地はない。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 嘱託職員をフルに活用している。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 公平である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 行政が行う範囲であるため、移行できない。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

この事業の実施により適正な特別調整交付金の算定ができた。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						